（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　すまいるみっけ

公表日　令和 8 年 2 月 27 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・クールダウンができる部屋がある ・活動内容や利用児の特性に合わせて使用する部屋やスペースを工夫している	同じ活動内容でも年齢や発達に応じてグループ分けをし設定保育や個別療育を行っています。登所時間や送迎時間を考慮し同時間帯に提供できるよう工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・会談、玄関等がわかりやすい	各室の段差は玄関以外はなく、階段に手すりもついています。 玩具や教材等、施設内は朝夕と適宜消毒を行っております。今後も引き続き過ごしやすい環境づくりに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・毎日消毒をして清潔に保っている ・使用した物をすみやかに片付ける ・整理整頓を心がけたい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・「部屋」がなくても『スペース（空間）』を提供できるように工夫している ・活動場所、学習場所とは別にクールダウンできる場所が確保されている	静養室や静かな空間も設けています。職員の目の届く場所にあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・定期的に行っている ・これからも各自、自己研鑽に努める	引き続き職員間の連携（報連相）の充実に重点を置いていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			ご利用いただいているご家族様へ配布させていただいております。また、ホームページにも掲載しております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎朝の打ち合わせで些細なこともすぐ伝えられる ・改善できたことをkうぃぞくできるように努める	引き続き、継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		今後、必要に応じて実施していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・外部研修会への参加、施設内研修もこまめに行っている	外部研修については必要に応じて参加する対応ができています。また、定期的に施設内研修も行っており、引き続き継続していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・作成リストを用いたり、視覚化をしわかりやすくするのはどうか	お子様の成長や様々な変化について、随時話し合いを設けています。 引き続き、ご家族様のニーズや園での様子を聞きながら、支援に反映できるよう努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・定期的に会議を行い、統一した支援ができるよう検討されている ・朝の打ち合わせの時間に共有されている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・他機関で行われた検査結果等は保護者様の判断で情報を得られている（全員ではない）	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			引き続き、継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・同じ活動内容でも学年やグループで内容を変えたり、工夫している ・お子さんたちで考える場面や意見を出し合って決める場を設けている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			記録用紙に計画に伴った支援ができているか等の評価をしやすく記載しております。また全職員が記録を記載し、支援や評価に偏りがないかを把握できるようにしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・発信力に個人差を感じるため、勉強会等の開催やフォローする体制を	打ち合わせの内容を全職員が把握するため、日々の業務日誌へ記載しております。また、日案については月案に沿って作成し、全職員が把握できるようにしております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100%		・終了後や翌日に必ず話し合いをしている ・そのように努めている ・療育内容や子どもの様子を相談できる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・固定化しないようにスタッフみんなで記録を書いている	記録用紙に計画に伴った支援ができているか等の評価をしやすく記載しております。また全職員が記録を記載し、支援や評価に偏りがないかを把握できるようにしています。 適切に支援内容に沿っているか、職員の振り返りもできるように努めています。引き続き継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%			引き続き継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・言葉だけでなく視覚からも取り入れやすいよう工夫している	引き続き継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・できるだけ複数人で出席できるように業務を調整している	今後も管理者だけではなく、関わっている職員のスキルアップも含め、療育に影響がないように調整しながら参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・すぐに連絡を取り合い、最小限にしたりスムーズにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			個人情報の都合上、ご家族様よりご希望のあった場合対応させていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%	・まだ卒業に該当する利用児がいない	現在該当するお子様は在籍しておりませんが、今後のため情報を収集し対応できるよう努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	100%			今後も継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		・子どもさんによっては放デイの日数を減らしたり、調整したりできるだけ児童館を利用する等地域の子どもと交流できるように支援している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		・協議会が開催している研修会への参加	案内をいただいたものには参加しています。今後も継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・毎回連絡ノートは活用しているが、その他随時、電話やメール等で情報を共有している	今後も相談しやすい環境に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・年１回程度開催している。保護者様からも希望があり、回数については要検討事項となっている	引き続きご家族様の不安を早急に軽減、解決できるように配慮していきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			今後も詳しくわかりやすい説明に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・うまく訴えられない子どもの意向はケース会議等で様々な視点から検討し、くみ取る工夫をしている	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%			今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・面談時もできる限りスタッフが多く出席できるように業務調整している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		・懇談会という形でも開催している	保護者様の負担軽減のため、保護者会等の結成はしておりませんが、家族支援・兄弟支援等を考慮し、今後も継続して実施していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			苦情やご要望に対し必ず返答させていただいております。話しやすい環境にも考慮し、引き続き継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			SNSの発信について多くのご希望をいただいておりました。今後はLINEも活用していく予定です。よろしくお願いいたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・名前や顔写真についての話し合いや、イニシャルやシールで配慮をしている	個人ファイル及び個人が特定できるものに関しては、事務室に設置している鍵付き書庫で管理しています。また、顔写真についてはご家族様より同意書をいただき、掲載しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・文字化、イラスト化等々の工夫	個々にわかりやすくお伝えできるよう配慮しています。引き続き継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%			町内の会合や総会等に施設を利用していただいております。何か困ったことはないかと町内会長さんにも気にかけていただいており、感謝しております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・防犯に関しての対応は今後の課題と感じる	地震・火災・水害等の避難を実施しております。その際連絡ノートやおたよりに記載しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・BCPの関しては今後状況等に合わせて適宜見直しをし、実際に活かせるものにしていきたい	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			ご家族様との連携に努めています。引き続き継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・毎年アレルギー調査を行っている ・必要があれば医師の診断書等、情報共有する体制にある	在籍の栄養士のアドバイスを受け配慮しております。現在「そば」の提供は行っておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			今後同じような場面があった際にすぐ対応ができるよう全職員で共有しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・最低年１回の外部研修・伝達研修と適宜施設内研修を行っている ・行われていると感じる。研修の共有も都度頻回に行われていると感じる	定期的な施設内研修及び外部研修に参加しております。今後も継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			危険行為及び問題行動が目立つお子様の支援内容は、ご家族様と話し合い、関わり方の統一に重点をおいています。